

●群馬県●

精神障害のある人の円滑な 地域移行に向けて

群馬県では、精神障害者の地域移行の推進に向けて、障害者自立支援協議会の中で、相談支援従事者等の人材育成や退院促進支援部会の開催を行っているほか、ピアサポート活用事業や保健・医療・福祉の相互理解を促進するための研修を実施しています。

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

群馬県では、精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して、本人が充実した生活を送ることができるよう、行政機関、医療機関、地域援助事業者等の関係機関が連携し、統合失調症を始めとする入院患者の減少及び地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活を継続するための支援を推進する。

○協議会の設置（県主体）

- ・ 関係機関から構成される協議会を年2回開催
- ・ 精神障害者の地域移行推進に係る課題等の協議

○ピアサポート活用事業（ピアサポーターの養成・派遣等）

- ・ ピアサポーターの養成講座（H29：修了者18名）
- ・ 精神科病院交流活動（H29：93回）

○精神障害者の地域移行関係職員に対する研修に係る事業

- ・ 市町村、精神科病院、障害福祉サービス事業所、介護保険サービス事業所等の職員に対し、精神障害者の地域移行に関する保健・医療・福祉の相互理解を促進するための研修を実施

（H29）テーマ：「長期入院患者の回復を促す他職種による働きかけ
～SSTの技法を活用する～」

対象者：精神科医療機関で精神障害者の支援に関わる職員等

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

○【H20～24】

- ・ 精神科病院入院患者実態調査
- ・ 医療機関や相談支援事業所等に地域移行推進員配置

○【H23～】

- ・ 精神障害者地域移行支援事業運営協議会（退院促進支援部会）
－精神障害者の地域移行支援事業に係る課題の検討・調整を行う。

○【H25～】

- ・ 高齢入院患者退院支援事業（～H26）
- ・ ピアサポート活用事業
－ピアサポーターの養成や精神科病院へのピアサポーター訪問、普及啓発活動を行う。

○【H26～28】

- ・ シンポジウムの開催
－精神障害に限らず、すべての障害者の地域生活を考える機運向上を図る。

○【H28～】

- ・ 精神障害者地域移行支援連携研修会
－精神障害者の地域移行に関する保健・医療・福祉の相互理解を促進するための研修を実施

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

【特徴(強み)】

●●

●●

調整中

課題

① ●●●

②

③

取組)

(H30)

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成30年度の実施スケジュール

平成30年度の実施目標

- 1. ○
- 2. ○
- 3. ○

時期
(月)

HO:
○月

調 整 中

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた指標の推移と目標値

NO	指標	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 32年度	平成 36年度
①	1年以上の精神科病院在院患者数(人) (各年6月30日現在)	2,716	3,100	—	2,656	—
②	各年度 地域移行支援利用者数(実人数)(人)	4	0	—	—	X
③	②のうち、退院した者の数(実人数)(人)	—	—	—	—	
④	ピアサポーターの養成者数(実人数)(人)	39	25	—	—	
⑤	④のうち、活動している者の数(実人数)(人)	21	14	—	—	
⑥	地域移行を促す基盤整備	X			625	
⑦	治療抵抗性統合失調症治療薬の普及					
⑧	認知症施策の推進					

目標値

【記入上の留意点】

- ③について ※利用年度の翌年度以降に退院した者については、利用年度に計上して下さい。
※退院後に再入院となった者については、退院した者(1人)として計上して下さい。
- ⑤について ※養成年度以降に、実際の活動を開始した者については、養成年度へ計上して下さい。
- ⑥⑦⑧について ※障害福祉計画上に明記した地域移行者数(地域移行に伴う基盤整備量(利用者数))を踏まえ、記載して下さい。
※⑥・⑦・⑧のそれぞれの値を分けて記載できない場合は、⑥+⑦+⑧の合計値を記載して下さい。